



TCA

—NEWS—

Vol.54 秋号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市民国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

友好都市締結25周年記念

平成18年度海外研修

中国秦皇島市親善訪問

富山市と秦皇島市 (QIN HUANG DAO) は

1981年5月7日に友好都市締結をしました



秦皇島市表敬訪問

劉辰彦副市長はじめ幹部らと親しく歓談し、記念撮影

市领导会见日本客人

本报讯 (记者李宇) “希望秦皇島市和富山市的交流进一步扩大，两个城市间的友谊地久天长。” 8月28日晚，副市长刘辰彦在秦皇島大酒店会见了日本富山市民友好访问团。

此次来到我市的友好访问团由富山市民国际交流协会会长梅泽信义带队，共26人，都是富山市民间组织的成员。富山市民国际交流协会的志愿从事国际交流和国际协作活动的市民组成，曾多次向我市捐款，总计100余万日元。同时来访的还有富山市民间组织“北戴河之会”，这个组织曾捐款200万日元帮助我市的小学改善办学条件。

据了解，1981年5月7日，我市与日本富山市建立友好城市关系，这我市第一对、也是河北省第一对友好城市。25年来，双方政府和民间交往密切，我市赴富山市的访问团有70多个，接待富山市民访问团100多个，通过互访为两市经济、文化、体育、教育等领域的交流合作打下了基础。

刘辰彦对访问团的到来表示欢迎，他向访问团成员介绍了近年来秦皇島的发展情况，同时希望通过秦皇島的交流扩大秦皇島在日本的影响，促进两市在更高层次、更多领域的合作，带动更多的日本朋友来我市旅游和投资置业。

表敬訪問について「秦皇島日報」など
地方紙3紙に写真付きで大きく
掲載されました



校庭で子供たちから熱烈歓迎



秦皇島市迎秋里実験学校訪問

梅沢団長と内山北戴河会長からウインドブレイカー(50着)と
バレーボール(6個)を贈呈され、感激する石万年校長 謝々!

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

中国秦皇島市親善訪問

世界自然遺産 … 黄龍・九寨溝 … と 成都 を訪ねる

今回の海外研修は北戴河の会と当協会との合同事業として実施されました。

友好都市締結25周年を記念し 秦皇島市を訪問交流を深める

団長 梅沢 信義



平成18年度海外研修として、8月27日から9月3日までの日程で総勢27人で中国を訪問しました。目的の第一は、富山市と秦皇島市との友好都市締結25周年を記念しての秦皇島市訪問でした。

28日 秦皇島市政府を表敬訪問しました。森市長から菅瑞亭市長あてのメッセージを劉辰彦副市長に手渡し、劉副市長から市民国際交流協会から100万円、北戴河の会から200万円の寄附をいただき感謝していますと歓迎の言葉がありました。歓迎会は大変賑やかなものになり、宴会半ばに女性団員が浴衣姿で八尾おわら踊りを披露し、親善交流に大きな役割を果たしました。

翌日の答礼宴には張立起、董紅媛、管立新、張曉鐘、



世界遺産 九寨溝にて

申英眠さんら富山と関係深い皆さんを招待し懐かしい思い出話に華を咲かせました。

今回の秦皇島市訪問は2日間と短い期間でしたが、25年間の市街地の発展ぶりには目の見張るものがあり、北京オリンピックのサッカー会場となるため意気込みも感じられました。そして、これからも末永い交流発展のために両市で努力することを誓って秦皇島市を後にしました。

日程の後半は、世界自然遺産に指定され観光ブームを起こしている黄龍・九寨溝を視察、自然の美しさを堪能して全員無事に帰国しました。



パンダ繁育研究基地（成都）
かわいいパンダたちがいっぱい！



交流会 ゆかた姿でおわら踊りを…



迎秋里実験学校 かわいい歓迎会

…感動で胸がふるえて…

北戴河の会会長 内山恵美子

6年前、秦皇島市迎秋里実験学校竣工式に出席して以来の同校訪問となりました。中国ではまだ夏休み中であり生徒の登校も無いと思っておりましたのに、校門にバスが着くとブラスバンドのあの懐かしい演奏が私たち一行を歓迎してくれました。先生や保護者の方々も笑顔で出迎えていただき、待機して下さっていた石万年校長より大きな花束を受け、再会の強い握手で思わず涙してしまいました。

この会は、「秦皇島大好き人間」が集って北戴河の会として発足しました。何か私達に出来る事がないか

と話し合い、20人でお金を積立てて“形のあるプレゼントを”と、「秦皇島—富山市民交流学校」を建設いたしました。

北戴河の会は、富山市を訪問された方々、市の研修に来た方々等と草の根の交流を深めるため努力しているところです。



姉妹友好都市委員会

日本語ボランティア登録者研修会

「韓国と日本での日本語教育経験談」

講師 折田真一氏（富山情報ビジネス専門学校日本語科主任）



7月8日(土) 当センター

講演会には、日本語ボランティア登録者だけでなく、外国人、韓国に興味のある人、日本語ボランティアに興味のある人など約40人の参加がありました。

講師から12年間の韓国での生活や韓国人の奥さんとの出会い、日本語教育との出会い、韓国と日本での日本語教育について話を聞きました。

韓国との出会いの中から「日本人も韓国人も映画やマスコミの情報から得るイメージ（擬似環境）が大きく、あまりにもお互いを知らない。また、異文化に接したときは、自分の価値観で判断せず、エポケー（判断留保）をすることが大切である」と。また、講師の日本語教育の授業の様子をビデオで見ながら、講師は反省点を上げて、常に自己研鑽をしてベテラン教師の化石化に気をつけなければならないと話されました。

2時間のお話はあっという間で、この研修会を機会に日本語教育の面白さの再発見と日本語ボランティアに興味をもっていただけたらと思います。

次回の日本語ボランティア登録者研修会はワークショップを計画しています。

日本語ボランティア 山崎真理子さん

高校生のための「通訳ガイド（英語）入門夏季集中講座」

8月7日～10日 10：30～12：30 当センター

この講座は、学校の英語の授業とは異なる場で英語に接することで新しい学習方法を取り入れ、将来の選択を広げられるようにと開講しました。

参加者 10人（4日間連続の参加者は少なかった）

講師 日本人 2人 アメリカ人 1人

スケジュール ①英語から日本語へ“頭ごなし訳”に挑戦

②テレビの2ヵ国語放送にのせて通訳に挑戦

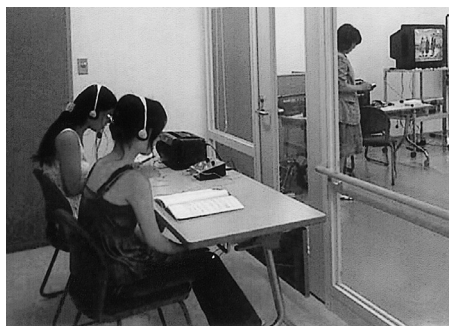
③富山の観光ガイドに挑戦

日本語と英語では語順が違いますから文章（話）の内容を把握する場合、最後まで読んで（聞いて）から訳すというのが普通でしょう。しかし、同時通訳の場合、最後まで聞いてから訳しては、どうしても遅れてしまいますから聞いた所を順に訳します。そのために言葉のつなぎ方を工夫するというのが重要なテクニックです。これをマスターしようと、まずは、短い文を読んで練習し、それからビデオを見ての実践練習に移りました。

今回は手作りながら本物そっくりの通訳ブースを用意したので、参加者はヘッドフォンをかけて耳から聞こえてくる声を頼りに訳していました。とても緊張感もあり、また、達成感もあるものでした。

観光ガイドの練習では、基本文の中に、各自が選んだ「おすすめ一日観光コース」を折り込み、皆の前で発表しました。この時も、マイクを握っての実践形式でしたので、否が応にも緊張感が増しましたが、プロの感覚を少し味わってもらいました。つつい顔がひきつってしまう場面や、黙ってしまう場面もありましたが、高校生には勉強してきた英語が職業としてこうして生かされているのだと体験してもらえよ機会となりました。

通訳・ガイド実践クラス 原 和子さん
穴戸公子さん



平成18年度 夏季日本語集中講座



今年で11年目となる「夏季日本語集中講座」は、8月21日～26日の日程で行なわれ、富山在住の韓国、英国など10ヶ国の主婦や高校生、ALTなどたくさんの人

が受講しました。全9クラス（午前4クラス、午後5クラス）ですが、午前と午後を通して受講する人が多く、レベルも高いので、同時通訳演習（中級会話）、回覧版の学習（読解）など、他では見られないユニークなものをいろいろ工夫しながら、本当に講師たちはがんばりました。

今年から「日本語サロン」コーナーを設けて、お茶を飲みながら休憩したり、おしゃべりしたり、なごやかで楽しい空間がそこに生まれ大好評でした。

特別授業は、今年は富山警察署から来ていただいて、交通事故や110番通報について話を聞きました。

講師たちは「準備段階から本当に大変でしたが、学ぶことも多く、終了したときのすがすがしさは格別で、また来年もやろうという気持ちにさせられます」と。

委員会報告

ボランティア養成講座

「私のボランティア体験談」

王生 禎子氏（富山市女性ボランティア協議会前代表）



9月7日
当センター

講師は、平成17年度の北日本新聞地域社会賞を受賞した当時の「富山市女性ボランティア協議会」の代表です。ご自身の体験をとおして感じたことをお話しされました。

「ボランティアって楽しいもの。楽しくなければボランティアではない。というのが私の持論です。」

私とボランティアの出会いは二人の息子たちとボーイスカウトに入団したことがきっかけです。ジャンボリー、キャンプ、スキーと楽しい活動がいっぱいの中で、人間相互の連帯感を高める、助け合い励まし合い、心と心のふれあいを大切に、そして、国際社会の一員として協力する、などを少しずつ自然に学んでいきました。私は現在、「音楽リズム」と「あかり小劇場」に所属して、人形劇など主体に保育所、幼稚園、老人ホームへ行き、そのほか養護施設や乳児院のお手伝いなどのグループ活動をしています。」

平成4年、「第1回富山市婦人の翼」に参加した際に、メルボルンでホームステイをした家庭のジョアン夫人から「ボランティアってなに？ 困っている人の手助けをするのは当たり前よ。」と言われたその時の言葉を今も肝に銘じて楽しい活動を続けています。」

そして、講師は「ボランティアは自分自身は楽しんで自分のできることから無理をせずに、職場や家族からの理解を得ながら活動をする。相手の喜びは自分の喜びでもあります。」と締めくくられました。

ゆかた着付け教室

7月26日
当センター



富山在住の外国の人たちは、自分でゆかたを着られるようになりたいと、中には、自分のゆかたを持って、また、日本のお義母さんと一緒に参加した人もいました。ボランティア委員会の会員らにゆかたの着付けを教えてもらって、鏡に写ったゆかた姿をうれしそうに見ていました。

富山大学留学生ホームビジット

楽しい一日をありがとう！

会員 家城 峰子さん



7月29日、中国からの留学生3人を我家に迎えました。ピッポファミリークラブの仲間も来宅し、一緒に交流しながら一日を過しました。

昼食は、夏野菜の天ぷらと白エビのかき揚げと焼ソバを一緒に作りました。「初めてです」と楽しんで作って「おいしい！」と喜んでくれました。

日本に興味を持った理由や、将来の夢を聞きました。みんなしっかりした考えを持っていて素晴らしいなァと思いました。日本のアニメが好きだと言って、それによって日本の文化や地名を知るのに役立っていると聞き、私たちが方が感心させられました。

楽しい一日をありがとう！ほんとうに楽しかったです。

ボランティア委員会

“おわら” 踊り交流会

7月23日
当センター



富山の伝統民謡「こきりこ節」の踊りの見学と「越中おわら踊り」の練習にたくさん富山在住の外国の人たちが参加しました。踊りのスタイルは、いろいろマチマチ、「南国風おわら踊り」や「中国風おわら」など新しいものがぞくぞく出来上がりました。

みんなは、「楽しかったネ！」を連発しながら額の汗をぬぐって2時間の練習は終わりました。先生も生徒も一生懸命のひとときでした。

もっと知ろう世界の街

9月18日
当センター

「ネイモンクー(内蒙古)自治区」

講師 ソリナ氏（富山大学文学部研究生）

結婚式などお祝いの時に着るといふ豪華な刺繍の鮮やかな民族衣装を着たソリナさんから、その地方の曲の流れる中で、内モンゴルの季節、芸術文化、お祭り、教育など日常生活について聞きました。



特にモンゴル語の珍しい書体に興味を持って何度も書いてもらいました。

文化交流委員会

多国言語文化交流クラス

ペルー & スペイン語

7月1日

講師 ANGELA SUAREZ氏 (富山大学教育学研究科研究生)

「ペルーは、エクアドル、コロンビア、ブラジル、ボリビア、チリと国境を接しており、日本の約3.4倍の国土は、年間を通してほとんど雨の降らないコスタ（海岸砂漠地域）、雪が降るシェラ（アンデス山脈に広がる山岳地域）、そして、ジャングルに覆われたアマゾン川流域のセルバ（熱帯雨林地域）と大きく3つの地域に分けることができます。この変化に富んだ風土と気候の中で古代文明が栄え、インカなどすぐれた文化が発展し、「マチュピチュ」「クスコ」…ほか多くの世界遺産を現在に伝えています。」…と。

アンヘラさんは、リマでは体操の先生です。参加者は、アルファベットの30文字や男性名詞、女性名詞の扱いなどスペイン語に少しふれたり、ペルーの魅力をいっぱい感じました。



フィリピン & フィリピン語

9月2日

講師 Jennifer Ricafrente氏 (フィリピン ミンダナオ島出身)

フィリピン共和国は、7,000以上の小さな島々から成り立っている国です。大昔、近隣の諸国からこれらの島に移り住んで土着の住民となった人達が、それぞれの島で固有の文化・固有の言葉を持って生活し、長い間国家としてのまとまりや名前すらも無かったのですが、大航海時代の1521年、マゼランの一行がやってきて、フィリピンと言う名の群島国家にまとめ上げていきました。スペインの統治時代が約300年続いた後に、アメリカによる統治が100年程続き、一時日本の支配下にも入ります。このようにフィリピンは多様な文化を取り込んでいて、言葉も元々の現地の言葉に加えてスペイン語、英語等いろいろ交ざっていることを知りました。

例：ありがとう＝サラマット、歓迎＝マブハイ、すみません＝エクスキューズミー、こんにちは＝ハロー、さようなら＝アディオス など

ジェニファーさんは、SMK(株)＝昭和無線（電子部品製造）富山支社に勤務してカーナビ製造責任者の要職にあります。

SMK(株)は、フィリピンにも工場があるそうです。



ALT交流会



8月24日
当センター

新たに、富山市近辺の中学校や高校に赴任した英語指導助手 (Assistant Language Teacher) と会員らの交流会が開催されました。

会員らの準備した料理やケーキなどを食べながら和やかに談笑したり、自己紹介をしたりして楽しいひとときを過ごしました。

当協会を知ってもらうよい機会になりました。

国際教養委員会

英語スピーチと討論の会(ESD)

7月例会 7月11日 18:30~20:00

テーマ 「Anti-Africa Campaign？」
スピーカー Ousmane Sangare 氏 (富山大学留学生)

西洋や日本社会はアフリカに対して偏見を持っている。私はセネガルの出身だが、ダカールの町にビルが林立しているといっても人は信じてくれない。国際社会でもアフリカ出身者は活動(活躍)している。アフリカの正しい姿を知ってほしい。アフリカといえば報道機関は常にジャングルや砂漠やサファリばかりを報道する。近代化した姿も知ってほしい(見てほしい。)(伝えてほしい。)…と。

日本語弁論大会の全国大会で外務大臣賞を受賞した経験を持つウスマンさんは、その流暢な日本語と内容あるスピーチでアフリカ大陸を愛し、誇りを持って訴えるように話されました。



8月例会 8月8日 18:30~20:00

テーマ 「America's Iraq War and the Future of Middle East」
スピーカー Greg Guelcher 氏 (米国アイオワ州在住)

ゲルチャー氏は、アメリカ国民の立場からイラク戦争について「戦争は互いにその犠牲は大きい。早く終結すればよい。アメリカは、民主主義を拓くというが、ブッシュ政権が考えるほど簡単なことではない。それぞれの歴史、文化、宗教をしっかりと理解しなければ…」と、話されました。



9月例会 9月12日 18:30~20:00

テーマ 「Japan Contribution to Advanced Technology」
スピーカー 若林 守光氏

「Honda」が中国では「Hongda」となって自転車やオートバイが売られているなど韓国や中国で日本のテクノロジーが流出している事が問題になっていることについて話されました。

スピーカー自身も海外の勤務経験を有し、その経験を通して、日本人、日本企業は多くのすぐれた製品を作っているので、そのことを日本人は自信に思ってもらいたいと強調されました。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。

宿題の手伝いをします

…外国人のための学習日本語支援

…小・中学校のお友だちは無料ですよ！

外国につながる子どもが増えています。富山市にはブラジル国籍、中国国籍を中心に88名が在住しています。ほかに富山で生れた子どもも多くなりました。日本語が分からず、不自由な学校生活を送っている子どもが7割くらいいます。なかには言葉の問題などで学校に行けない子がいます。

そんな子ども達への支援をするのが「宿題お助け隊」。木曜日夕方と日曜日午前に日本語を学ぶ手助けや宿題の手伝いをしています。これまでに中国・ブラジル・韓国、フィリピンやパキスタンの10名が訪ねてきました。

さあ、みなさんも地域に住む外国人の子どもに声をかけてみましょう。

教科書にかなふりをしてあげましょう。

勉強お助け隊 子どもの日本語グループ 米田哲雄さん

(米田さんは、JICAシニアボランティアとしてブラジルで、富山県シニアボランティアとしてもモンゴルで、日本語教育に携わられました。)

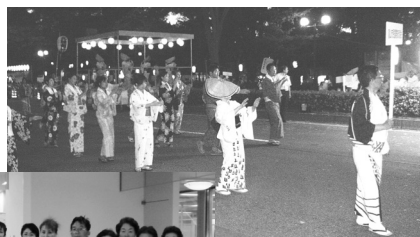
OWARA DANCE in TOYAMA

第46回富山まっりの「越中おわら踊り」は、哀調を帯びたおわらの調べにのせて真夏の夜を、暑さを忘れて踊りました。

当協会は、今回で9回目の参加になりました。「富山市民国際交流協会」のプラカードを持った杉田所長を先頭に富山在住の外国の人たちと会員らは、異文化交流と思い出作りに熱い汗を流しました。

7月に行なわれた「ゆかた着付け教室」や「“おわら”踊り交流会」で練習した成果は…どうだったでしょうか。

8月5日 城址大通り



お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	参加費	対 象
ディスカバー富山	10月7日(土) 10:00~16:30	富山市内各所	国際教養	500円	会員・外国人
音楽鑑賞弾語り	10月7日(土) 15:30~17:00	CiC音楽室	文化交流	無料	会員・外国人
英語スピーチと討論の会	10月10日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
国際交流フェスティバル2006	10月21日(土) 13:00~17:00 ~22日(日) 10:00~16:00	CiC前庭及び 当センター	合同	—	—
多国言語文化交流クラス 「オーストリア&ドイツ語」 エーファ・カペラ氏	11月4日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
座禅	11月5日(日) 12:00~15:00	梅沢町海岸寺	文化交流	無料	外国人
中国秦皇島市友好締結25周年 記念海外研修報告展	11月13日(月) 10:00~21:00 ~18日(土) 最終日は18:00まで	当センター	姉妹友好都市	無料	
料理教室(日本料理)	11月15日(水) 10:30~13:30	富山市中央保健 福祉センター	ボランティア	300円	外国人
国内研修 岐阜県可児市	11月26日(日)~27日(月)	可児市国際交流協会 他	総務企画	20,000円(予定)	会 員
富山大学留学生ホームビジット	12月 10:00~17:00	—	ボランティア	—	—
年忘れパーティ	12月 11:00~13:00	当センター	ボランティア	未定	会員・外国人
新春国際交流のつどい2007	1月13日(土) 14:00~16:00	CiC多目的ホール	合同	未定	会員・外国人

国際交流フェスティバル2006

と き 10月21日(土)~22日(日)
ところ CiCビル及び前庭(駅前広場)
内 容 ステージ公演・国際交流団体活動紹介ブースとワークショップなど
※誘い合って参加してください!

会員のみなさんへ〈会費納入〉のお願い

○会 費 1口 個人 3,000円 家族 5,000円
団体・法人 10,000円

○納入方法 ①当協会窓口
②振込の場合は
北陸銀行富山市役所出張所口座 富山市民国際交流協会
普通預金 No.4076440

編集後記

まちのあちこちで外国人親子や外国人と日本人のカップルなどをよく見かけます。

近年、外国人登録者数の増加は著しく、富山市においても1.2%を超える数値となっています。

私の住む地域の夏まつりに、日本語学校の学生たちも参画して「国際交流in〇〇ふるさとまつりの夕べ」が開催されました。賑わう綿菓子、かき氷、アンパヤシ、どんどん焼などの屋台に並んで、彼らのスリランカのカレー、ベトナムの春巻き、中国風鳥手羽先煮、水ギョウザなどの屋台の前には長い行列が出来てすぐに完売しました。

お互いに初めての事なので、とまどいながら、学生たちは地域の人たちからあたたかい協力と応援をもらってスバシイ交流をしました。後日、彼ら一人ひとりから「アリガトウゴザイマシタ、タノシカッタ、ミナサンニカンシャシマス」とお礼がありました。私たちも来春の大学受験合格にエールをおくりました。心が熱い夏まつりでした。

今後のグローバル化の進展、内なる国際化が進む中で多文化共生の社会づくりは、外国の人たちも地域に進んで参加し、そして、地域の人たちは、あたたかく受け入れて分り合い、心からの交流で協力しながら「一緒に住む社会」を築いていけたらいいですね。

広報委員長 岡田昌代